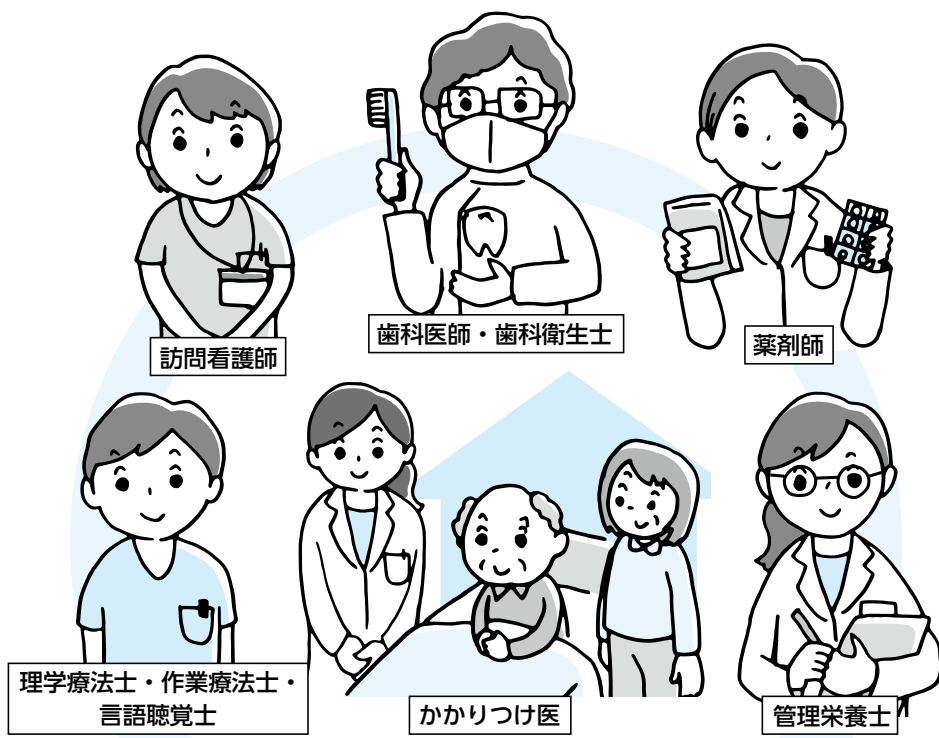


在宅医療

いつまでも自分らしく過ごすために

医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた場所で過ごしたいと思う人は多いのではないのでしょうか。そのように、安心して療養生活を送るための「在宅医療」について紹介します。



在宅医療とは

在宅医療は、通院や入院で治療を受けることが難しくなった場合でも、自宅などの生活の場で治療を続けられる制度です。

医師が計画的・定期的に利用者の自宅を訪問する「訪問診療」と、病状が急変した時などに臨時で診療を行う「往診」の2種類があります。

連携するさまざまな専門職

利用者の状態に応じて、かかりつけ医を中心に、医療や介護の専門職がチームとなって自宅を訪問し、療養生活を支えます。

訪問看護師

医師の指示の下、処置や療養中の援助を行います。

薬剤師

薬の飲み方や飲み合わせなどの確認・管理・説明を行います。

歯科医師・歯科衛生士

歯の治療や入れ歯の調整、口腔管理などを行います。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

算士

日常生活に必要な動作や会話を行えるように、訓練や生活環境を整えるための指導などを行います。

管理栄養士

病状や栄養状態に応じて、食事などの管理指導を行います。

希望を共有する取り組み「人生会議」

いつまでも自分らしく過ごすための取り組みとして「人生会議」が注目されています。

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしもの時に備えて、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族などの信頼できる人や身近な医療・介護従事者と共有する取り組みです。

突然の事故や病気によって意思を伝えるのが難しくなってしまう時でも、日頃から自分の希望を家族や周りの人と共有しておくことで、希望に沿った医療や介護を受けられる可能性が高くなります。

人生会議を始めるには

人生会議を進める時の主な流れは左図の通りです。まずは、この先どこでどのように暮らしていきたいかといった、自分の考えや思いことや伝えやすいことから始めてみましょう。

※くわしくは在宅医療・介護連携支援センター（健康増進課内）☎27・1111へ。

図 人生会議の進め方

①あなたが大切にしたいのはどんなことですか

- (例)
- 家族や友人と時間を過ごす
 - 好きなことが続けられる
 - 痛みや苦しみが無い
 - 家族の負担にならない
 - できる限りの医療を受けられる

②あなたの代わりになって気持ち伝えてくれるのは誰ですか

- 信頼している人
- 希望を理解し、尊重してくれる人

③かかりつけ医へ相談しましょう(病気で療養中の人)

- 健康状態や治療方法について分からないことはないか

④信頼できる人や医療・介護従事者と話し合しましょう

- 希望する医療やケアと、なぜそう思うのか
- 専門職の知識や意見を聞くことで、思い込みによる選択を回避する

⑤話し合った内容やとどり着いた考えは記録として書き留める